

記事基に授業組み立て

実践指定校、本社で報告会

小中高校の授業に新聞を活用した事例を報告する「NIE実践報告会」が二十五日、名古屋市中区の中日新聞



社であった。県内のNIE実践指定校のうち、二年目となる十三校が発表した。

県教委や報道各社でつくる県NIE推進協議会の主催。教員ら約百人が参加した。

大町大南小の松野卓郎教諭ら三人は、五年生に新聞記事を根拠に「二〇三〇年の自動車」を予測させ、記事の形式で書かせる社会科の授業をしたことや、日直が記事を基に毎朝スピーチをする取り組みを報告。松野教諭は「新聞を取り入れることで、主体的で深い学びができるようになった」と話した。



新聞を活用した取り組みを報告する「NIE実践報告会」＝中日新聞社で

一宮市千秋中の上野佳一教諭は、インターネットの利便性と危険性を伝える記事から情報モラルを考える授業をした。新聞の投書から文章構成を学ぶ小学校の発表もあった。

協議会長の土屋武志愛知教育大教授は「どの学校の授業も生徒同士の対話があった」と講評。NIEの実践が、コミュニケーションを重視する今の教育

の流れにも即しているとの見方を示した。

(佐橋大)